

平成27年4月23日

地域経済産業調査（平成27年1-3月期）結果

〈全体の動向〉

今期（1-3月期）の近畿経済は、一部に弱さが残るものの、緩やかに改善している。

生産は、電子部品・デバイスは中国向けスマートフォンや北米向け自動車の需要が高水準で推移しており、輸送機械は軽乗用車がこのところ堅調に推移するなど、緩やかな持ち直しの動きである。

設備投資は、全産業において持ち直してきており、計画どおりに投資が実施されている。

雇用は、一部に余剰感があるという声も出始めているが、依然として人手不足が続いている。新規採用は大企業で増加の動きがみられる。

個人消費は、引き続きボリュームゾーンの回復が遅れており、購入される品目や購入者層、郊外と都市部などの違いにより好不調にばらつきが目立つものの、購入単価の上昇もみられるなど、総じてみれば持ち直している。

〈個別の動向〉

- （1）生産：緩やかな持ち直しの動き。
- （2）設備投資：持ち直している。
- （3）雇用情勢：改善している。
- （4）個人消費：一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している。

〈これまでの基調判断の推移〉

| | 平成26年1-3月 | 平成26年4-6月 | 平成26年7-9月 | 平成26年10-12月 | 平成27年1-3月 |
|----|------------|---|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 全国 | → | ↘ | → | → | ↗ |
| | 持ち直している | 消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響等により一部に弱い動きがみられるが、持ち直しが続いている | 一部に弱い動きがみられるが、持ち直しが続いている | 一部に弱い動きがみられるが、持ち直しが続いている | 一部に弱い動きがみられるが、緩やかに改善している |
| 近畿 | → | ↗ | ↘ | → | ↗ |
| | 着実に持ち直している | 改善の動きが見られる | 改善の動きがみられるものの、一部に足踏み状態 | 改善の動きがみられるものの、一部に足踏み状態 | 一部に弱さが残るものの、緩やかに改善している |

（参考）今回、本調査の対象機関（93）、実施期間（平成27年2月20日～3月25日）

本件のお問い合わせ先)

近畿経済産業局総務企画部調査課長 尾仲

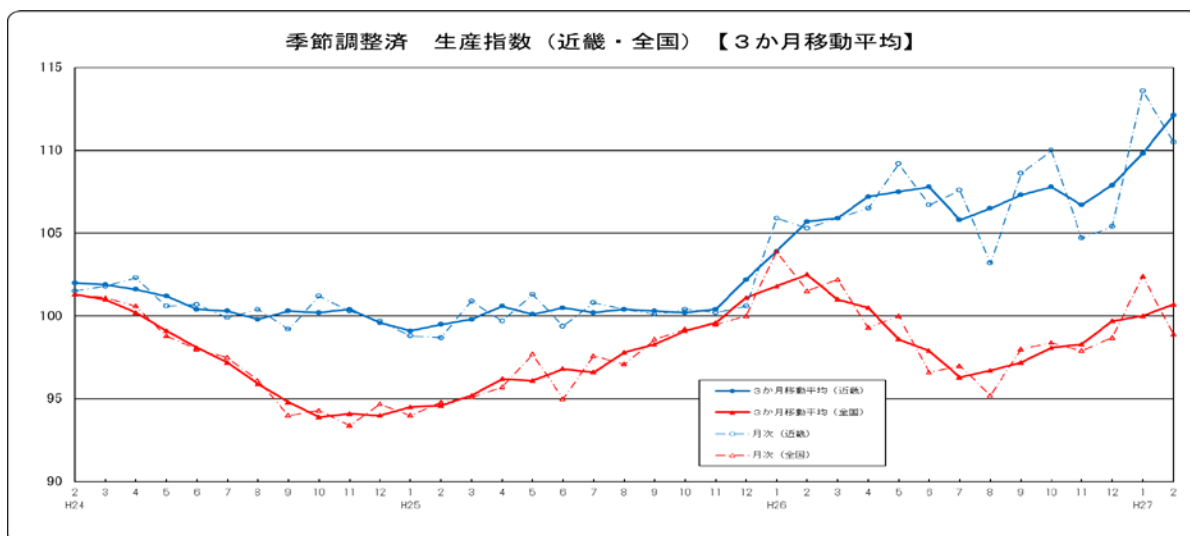
担当：奥田、小谷 電話：06-6966-6004

生産 ～緩やかな持ち直しの動き～

電子部品・デバイスは、通信網が拡張している中国向けのスマートフォンや好調が継続している北米向け自動車の需要が高水準で推移しており、輸送機械は、軽乗用車がこのところ堅調に推移するとともに、北米等海外向けも好調である。電気機械は、車載用のリチウムイオン蓄電池を中心に好調を維持し、はん用・生産用・業務用機械も北米等海外向けが堅調である。他方、電気機械工業の一部については、在庫が積み上がっており、生産を調整しているという声も聞かれた。

【企業の生の声】

- 自動車部品関係が非常に好調で、受注・生産は増えている。在庫に関しては1か月分程度を維持しており大きな変動はない。【化学】(中小)
- 米国・欧州は好調であるが、国内は良くもなく悪くもない状況。フル稼働が継続しているため、本社工場等の生産能力拡大のための増床工事を行っている。
【生産用機械器具】(中小)
- 電子部品は、前期に比較するとやや一服感はあるものの、引き続き前年比プラスで推移しており、特にスマートフォン市場はLTEの普及が進む中華圏を中心に堅調に推移している。【電子部品・デバイス】
- 自動車向けは業界が好調なおかげですずっと手堅く推移している。通信機器向けは好調で生産量全体では高水準で横ばいが続いている。【電子部品・デバイス】(中小)
- 北米向け、国内向けは引き続き好調であるが中国向けの伸びがいま一つ。土日休みなしでフル生産しており、交替でシフトを組んでやっている。【輸送用機器】(中小)
- △一昨年比で比較すると、あまり変わらない。公共事業の遅れや住宅着工数が伸びないため内需向けが減少している分、海外向け輸出でカバーしている。建設よりも自動車等を主流とする製造業が鋼材需要の動向を牽引している。【鉄鋼】
- △車載事業等はフル生産を継続しており、先行きも大きな変化はないと予測している。白物家電の一部については生産を調整している。【電気機器】
- ×今期の国内での生産計画は前年実績より下回る見込み。要因は前年が猛暑と増税前の駆け込みで大きく増産した事や今夏の天候不順・国内の景況感悪化等による。在庫については国内で家庭用エアコン等を中心にだぶついている状況。【電気機器】



(注) 近畿・全国：平成22年基準（平成22年＝100）

データ出所：近畿経済産業局「近畿地域鉱工業生産動向」

設備投資 ～持ち直している～

全産業において持ち直してきており、計画どおりに投資が実施されている。大企業製造業を中心に、引き続き海外では地産地消を目的とした工場の新・増設、国内では研究開発や生産能力増強のための投資がみられる。中小製造業では老朽設備の更新等による省エネ・生産性向上、新規事業への取り組みが継続的に行われている。非製造業では、訪日外国人や新たな顧客獲得のための新規出店・店舗改装がみられる。

【企業の生の声】

- 国内は現存施設の維持・高度化を進めているが、海外ではこれに加えて工場にライン増設のための投資を行っている。【化学】
- 研究所の更新に着手。来期以後研究棟を新規に建てるために工場内に大きなスペースを確保するなど準備のために投資を行った。【生産用機械器具】
- 電気料金が上がっていることも考え、省エネ関連の補助金を使ってLED化を進めるとともに古くなった空調設備の更新を行う予定。【繊維工業】（中小）
- 生産設備よりもそれに付随するクリーンルーム、空調設備などへの投資が大きい。【化学】（中小）
- 合理化・省力化のために省エネエアコン、太陽光発電設備、デマンド監視装置の導入を行うとともに、新規顧客向けの増加等による増産への対応のため投資を前倒しで実施。【プラスチック製品】（中小）
- 事業所の業務拡大に伴い、点在する事業所を集約するため、建屋の大規模改修を行う予定。【材料卸売業】
- 現在ある免税店を増やす予定で申請を行っている。通訳を配置することにしてはいるが、免税の取扱いが少ない店はローコスト運用ができるようタブレット等を用いた翻訳システムを導入している。【各種小売業】
- 被災時における資材等の中核物流拠点としての機能を確保するほか、技能労働者不足の解消に向けた省力化技術の研究・実証機能や、技術伝承のための体験型研修機能の充実を図る。【総合工事業】

全国企業短期経済観測調査

(前年度(前年同期)比:%)

| 前年度 (前年同期)比 | 近 畿 | | | | | | 全 国 | | | | | |
|----------------|-----------------|-------------|----------------|--------------|-----------------|---------------|----------------|------------|-----------------|--------------|----------------|---------------|
| | 2014年度 (見込み) | | 2015年度 (計画) | | 2014年度 (見込み) | | 2015年度 (計画) | | 2014年度 (見込み) | | 2015年度 (計画) | |
| | 上期 | 下期(見込み) | 上期(計画) | 下期(計画) | 上期 | 下期(見込み) | 上期 | 下期(見込み) | 上期 | 下期(計画) | 上期(計画) | 下期(計画) |
| 全産業 | 14.3 | 12.5 | 15.6 | ▲ 5.9 | 10.9 | ▲ 18.5 | 4.4 | 1.9 | 6.4 | ▲ 5.0 | 4.0 | ▲ 11.9 |
| 製造業 | 6.3 | 0.9 | 10.7 | 3.6 | 22.8 | ▲ 10.8 | 7.1 | 5.5 | 8.3 | 1.3 | 13.2 | ▲ 8.1 |
| 大企業 | 4.7 | ▲ 3.0 | 11.3 | 4.1 | 23.2 | ▲ 10.1 | 6.7 | 4.0 | 9.0 | 5.0 | 17.0 | ▲ 4.4 |
| 中堅企業 | 17.8 | 52.9 | 0.2 | ▲ 0.8 | 20.7 | ▲ 17.3 | 9.4 | 11.6 | 7.6 | 3.6 | 21.0 | ▲ 10.4 |
| 中小企業 | 18.2 | 4.1 | 30.7 | 3.1 | 18.4 | ▲ 7.7 | 6.2 | 5.8 | 6.5 | ▲ 14.3 | ▲ 7.5 | ▲ 20.1 |
| 非製造業 | 19.0 | 19.9 | 18.3 | ▲ 11.0 | 4.6 | ▲ 22.6 | 3.1 | 0.1 | 5.5 | ▲ 8.0 | ▲ 0.6 | ▲ 13.7 |
| 大企業 | 21.1 | 24.6 | 18.5 | ▲ 11.9 | 4.2 | ▲ 23.9 | 8.8 | 5.2 | 11.7 | ▲ 4.1 | 3.0 | ▲ 9.3 |
| 中堅企業 | 2.6 | ▲ 17.6 | 23.0 | 0.3 | 14.6 | ▲ 9.4 | ▲ 1.5 | ▲ 7.8 | 4.2 | ▲ 5.6 | 1.7 | ▲ 11.4 |
| 中小企業 | 10.7 | 30.0 | ▲ 4.6 | ▲ 16.0 | ▲ 12.1 | ▲ 20.2 | ▲ 11.1 | ▲ 8.7 | ▲ 13.0 | ▲ 24.5 | ▲ 14.4 | ▲ 33.2 |

データ出所: 日本銀行(含む 土地投資額)

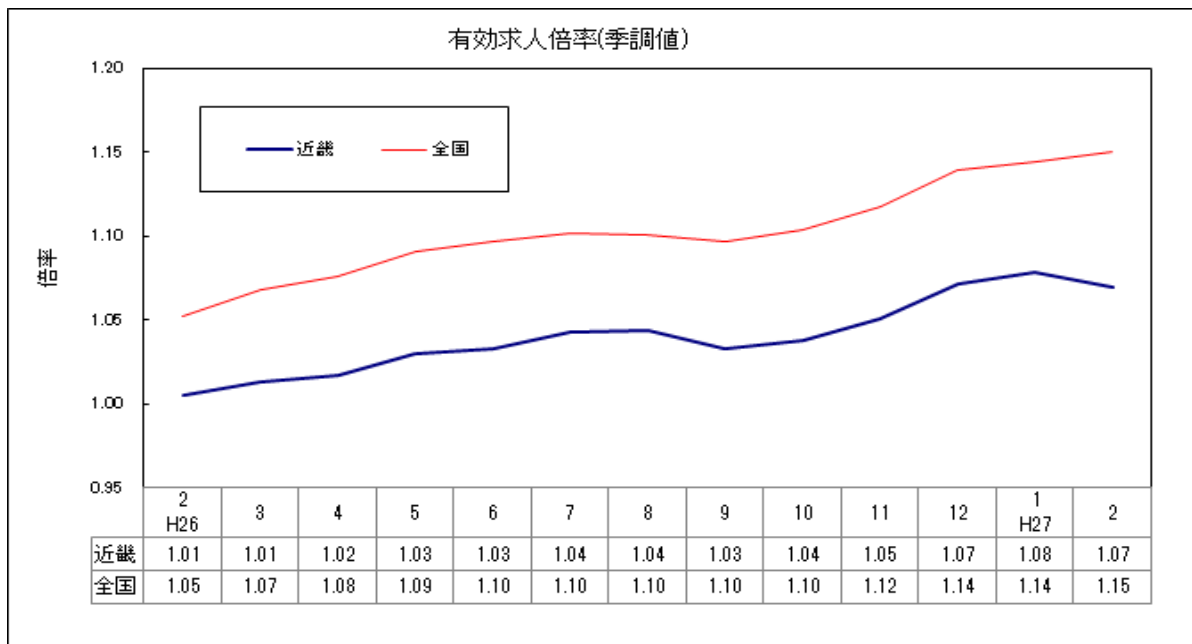
(大企業: 資本金10億円以上、中堅企業: 同1億円~10億円未満、中小企業: 同2千万円~1億円未満) 2015/4/1公表

雇用情勢 ～改善している～

一部に余剰感があるという声も出始めているが、依然として人手不足が続いている。新規採用は、大企業で増加の動きがみられる。また、海外展開のためのグローバル人材や有資格者・技術者等の人材不足は変わっていない。

【企業の生の声】

- ・派遣社員で現場を埋めるなど引き続き不足感がある。また開発要員についても不足している。【ゴム製品】（中小）
- ・増産への対応が求められており、不足感がある。残業より土日出勤等で対応しているほか、パートの増加により対応している。【プラスチック製品】（中小）
- ・事業部門によって状況が異なり、増員を実施している部門がある一方で、生産量が低下している一部のラインでは生産要員に余剰感が生じている。【窯業土石】
- ・受注が伸びない中で、雇用者については過剰感が強い。【繊維工業】（中小）
- ・以前から予定しているとおりの新規採用人数であり、大半が技術系である。なお、平成28年度も採用数を増員する予定であるが、本来であれば毎年これくらいの水準の採用が必要であったので、ようやくここまでの採用に戻せる業績に達したというところ。【電気機器】
- ・海外拠点のマネジメント層人材（日本人で海外経験がある人材）のニーズが高まっている。中国だけでなく、インドネシアやベトナムも多い。中国のニーズが落ち込んでいるわけではなく、中国市場をターゲットとした生産拠点としてのインドネシア、ベトナムのニーズが多くなっている。【労働者派遣業】
- ・海外向け人材は、募集しても応募がない。このため、海外拠点の事務所には、社員を交替で派遣している。【材料卸売業】
- ・技術職を中心に人員の不足感があり、現在、重点事業部門の人員強化を目的としたキャリア採用を実施している。【総合工事業】



データ出所：厚生労働省「一般職業紹介状況」

個人消費 ～一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している～

引き続きボリュームゾーンの回復が遅れており、購入される品目や購入者層、郊外と都市部などの違いにより好不調にバラツキが目立つものの、購入単価の上昇もみられるなど総じてみれば持ち直している。百貨店では気温上昇などもあり、主力の衣料品や高額品等が回復、スーパー等では飲食料品が前年を上回っている。軽乗用車は引き続き高水準で推移しているが、家電等は回復の動きがみられない。旅行は円安や政情不安等の影響から海外旅行が減少しているが国内旅行は堅調である。

【企業の生の声】

○販売台数は、今期は当初の予定を上回る台数に設定し直し、年間を上方修正した。

【輸送用機器】

○対前年度でみると観光客は増えている。日本人の宿泊についても増えている様子。冬枯れの時期でも各種イベントが効いているのかそれなりに観光客が来ている。

【その他事業サービス業】

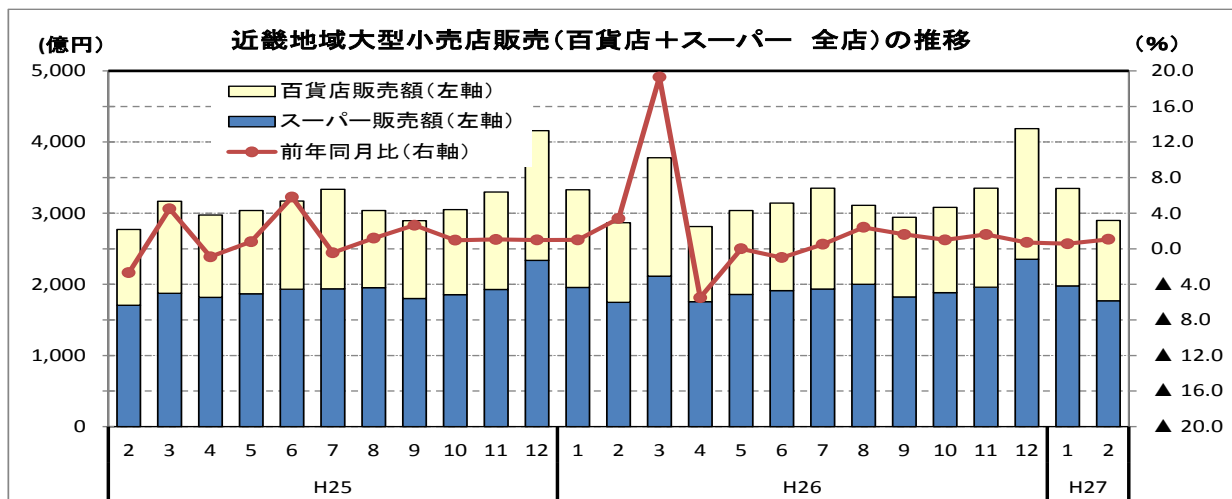
△関西では大阪地区は良いが、他地域は落ちてきている。高級ブランド品は良いが、ボリュームゾーンは引き続き悪い。富裕層（外商）とインバウンドに支えられている。また美術品を中心に高額品売上が前年を大きく上回る。【各種小売業】

△昨年の反動減と今年は季節物が動いていない状況がある。衣料品、住関連は落ち込んでいるものの食料品は畜産、惣菜が好調に推移し、農産は相場の動きの影響を受けると思われる。消費増税以降節約志向が強まり、実質賃金の上昇等、景気上昇の実感が得られない限り、購買意欲は回復しづらい。【各種小売業】

△関西空港を着地とする旅行では、海外はかなり厳しい状況。円安の影響と年明けのイスラム国の影響が大きく、特にヨーロッパが厳しく、学生の卒業旅行のキャンセルが相次いだ。国内は堅調に推移している。【その他事業サービス業】

△主力商品についてはボリュームゾーンの商品が不振。高級品や若者向けブランドは好調。消費意欲が戻ることを期待しているが、中長期的には国内な市場の縮小が避けられず、期待はできない。【繊維工業】

×家電関係では、エアコン、冷蔵庫、洗濯機など白物の大型家電の売上はしんどい、パソコンの動きも悪かった。クリーナーは前年並みの売上げ。テレビは、ケーブル業者などのデジアナ変換サービスの終了が近づき、あまり想定していなかったが久しぶりに地デジチューナーが売れた。【機械器具小売業】



データ出所：近畿経済産業局「大型小売店販売状況」